

聖書の最も重要な二つの真理 The Two Most Important Biblical Truth

IHOP大学講師 マイク・ビッケル 三位一体との親密さ
ヨハネ13章～17章シリーズ、ヨハネ15:9

あなたの美しさを喜びとして、あなたの喜びの川から飲ませてください。(詩篇36:8; 37:4)

I. 二つの輝かしい真理と一つの命令(ヨハネ15:9)

- A. イエスは弟子たちに対する御自分の愛が、御父の御自分に対する愛と同じくらい強いものであると宣言されました(ヨハネ15:9)。
私はヨハネ15:9を聖書の中で「最も重要な二つの真理」と呼んでいます(それぞれが多くの意味を持っています。この他にも、間違いなく「最も重要」と見なされるべき真理が最低10個はあるでしょう)。

9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。

- B. ヨハネ15:9には、信じるべき二つの輝かしい真理(15:9a, b)と、従うべき一つの命令(15:9c)が示されています。
私はこの二つの膨大な真理とその意味するところを、神の天の図書館の「重要な本の題名」と考えています。

1. 真理その1: イエスに対する御父の愛(15:9a)は、神がいかに神を愛しているかという現実を私たちに指し示します。
2. 真理その2: イエスは、御父が御自分を愛しておられるのと同じ強さで、御自分の民を愛しておられます(15:9b)。
3. 命令: 神の愛を理解し、表現することに集中して留まること、生きること(15:9c)。イエスは私たちに、この二つの真理を中心に神と継続的に会話をしながら留まること、生きことを求めておられます。

- C. 神が神を愛する方法(15:9a)は最高の愛の物語であり、神の民に溢れる(15:9b)のです。この栄光の、神の永遠の物語とは、聖霊が何を見、何を感じておられるか、聖書からささやき声を与えていただくことによって、私たちが「1日中思いめぐらせる」ことができるものです(コロサイ3:1-2)。

- D. イエスは、神を愛することを「第一」の戒めとして定義し、それが神ご自身にとって最優先事項であり、私たちの人生における最初の召命であることを明らかにしたのです。父はイエスを、イエスは御霊を、御霊は父と御子を愛しておられます。

37 そこで、イエスは彼に言われた。「心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。」38 これがたいせつな第一の戒めです。(マタイ22:37-38)

- E. 私たちは、第一の戒めを多くの命令のうちの一つとして見るのではなく、三位一体の神の中の交わりという永遠の文脈の中で見なければなりません。心を尽くして神を愛せよという命令は、私たちから始まったものではありません。それは世界の創造の前に存在した究極の現実の現れなのです。

- F. 神の心に燃える愛は、少なくとも5つの異なる、しかし深く相互に関連した表現を持っています。

1. 神の神への愛。三位一体の各神格は、心を尽くして他者を激しく愛しています。
2. 神の民に対する愛：神は心、思い、力を尽くして、神の民を愛されます。
3. 私たちの神への愛、神への私たちの愛：神の愛は御霊によって神の民に与えられます(ローマ5:5)
4. 私たちの自分自身への愛：私たちは、神の愛と恵みの中で、また神のために、自分自身を愛します。
5. 他者への愛：私たちは、神の愛を体験することで溢れるように他者を愛します(1ヨハネ4:19)

G. ヨハネ14章で、イエスは神を愛するという命令を強調し、5回にわたって、それが従順の精神に根ざしていると定義されました(14:15、21、23、24、31)。ヨハネ15:9では、私たちが神を愛する力を与える真理を宣言されました。

15 もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはず
です21 わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛する人はわたしの父に
愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身を彼に現します。」24 わたしを愛さな
い人は、わたしのものではなく、わたしを遣わした父のことばなのです。31 しかし
そのことは、わたしが父を愛しており、父の命じられたとおりに行っていることを世
が知るためです。立ちなさい。さあ、ここから行くのです。(ヨハネ14:15-31)

H. 神は愛です。神は全き愛です(1ヨハネ4:16)。神の存在の本質は全身全霊の愛
です。神がご自分の民を愛する唯一の方法は、心を尽くして愛することです。ヨハ
ネは、「愛にとどまる」ことの意味を、私たちが神とつながっているという現実を生
きる尺度と関連づけることによって、さらに詳しく説明しています。

16 私たちは、私たちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛
のうちにいる者は神のうちにおり、神もその人のうちにおられます。(1ヨハネ4:16)

I. 愛の定義は「共有され、増加する」ように現れる事が要求されます。神は、完全な
愛を体験する喜びを他の人々にも味わってほしいと願われました。そこで、神は、
ご自身が愛であるからこそ、この輝かしい交わりに参加するために人間をお造り
になりました。神は何一つ欠けることはありません。必要なものがないのです。寂
しいから、不満だから、感情的に何か足りないから、人間を創ったではありません。

J. 神の永遠の会議で、神が心からの愛の喜びを分かち合うことのできる人間という
種族を創造することが決定されたのです。なぜなら、それが神の姿であり、神が
私たちを創られた姿だからです。

K. 神が感情を働かせる方法は最も重要な現実です。神の無限の力と知恵は、神の
願望を実行するために使われます。

L. 神の「感じ方」こそ、最も重要な主題です。それは、神がなさること「何」の背後に
ある「なぜ」を明らかにするものです。私たちは、神が「何を」なさったのか、つま
り、創造し、贖われたのかを、その背後にある「なぜ」を見ることによって理解する
ことができるのです。なぜ主は創造し、贖われたのでしょうか？その理由の一つ
は、主の聖なる愛の喜びを分かち合うためです。

M. 主は常に100%ご自分のありのままの姿なので、いつも満ち足りた愛情を注いで
おられます。主は100%の愛、100%の知恵、100%の義など、決してそれ以下で
はありません。主はご自分を過小評価することはできません。
もしそうなら、たった一つの属性が1%欠けていたとしても、ご自分を否定すること
になります。彼の愛は無限であり、永遠に続くので、愛が弱まることも、大きくなる
こともありません。

6 主であるわたしは変わることがない。ヤコブの子らよ。あなたがたは、滅ぼし尽くされない。(マラキ3:6)

- N. 御父はイエスを愛するように、いつもご自分の民を愛してください。誠実な信者がつまずいたり、罪に苦しんだりしても、その愛を止めることはなさいません。
- O. 私たちの霊的な未熟さは、主が私たちに対して抱いておられる気持ちに影響を与えません。主は、私たちが復活した完全な状態で生きる、やがて来る時代にも私たちを愛され、その同じ愛で今の時代に生きる私たちを愛してください。私たちは霊的に成熟するにつれて、主の愛をより多く経験しますが、主の私たちへの愛は、これ以上増えることはありません。
- P. 私たちの心は、三位一体における愛の神秘をもっと理解することができるように魅了されます。三位一体の各神格は、愛と謙遜と一致の永遠の相互関係を享受しています。彼らは互いの権威を行使して奉仕し、尊敬することを喜びとし(ヨハネ5:23; 8:49-54; 12:26; 13:31-32; 14:12; 17:1, 4-5, 22, 24)、互いに満ち足りた関係を持っています(マタイ11:27; 1コリント2:10)。
- Q. 三位一体の各神格は、他者との関係を十分に楽しみ、関わっています。イエスは御父への愛に喜びと熱意を持ち、御父を愛し、御父から愛されることに感動しています。イエスの愛は決して機械的ではなく、父との関係において決して退屈することはありません。
- R. 三位一体の交わりはどんなに楽しいか、私たちはその関係にどんなに楽しく参加できるか、想像してみてください。

II. 御父のイエスへの愛(ヨハネ15:9、17:26)

- A. イエスに対する御父の愛は、考え得る限り最高の愛情です(ヨハネ3:35; 5:20; 10:17; 15:9; 17:23, 24, 26)。御父のイエスに対する愛が表現されている言葉を探してみましょう。世界の基ができる前からイエスを愛し(17:24)、イエスに対する御自身の愛を、贖われた人々の人生に解き放たれるのです(17:26)。

35父は御子を愛しておられ、万物を御子の手にお渡しになった。(ヨハネ3:35)

20 それは、父が子を愛して、ご自分のなさることをみな、子に示しになるからです。また、これよりもさらに大きなわざを子に示されます。それは、あなたがたに驚き怪しむためです。(ヨハネ5:20)

24 父よ。お願いします。あなたがわたしに下さったものをわたしのいる所にわたしといっしょにおらせてください。あなたがわたしを世の始まる前から愛しておられたためにわたしに下さったわたしの栄光を、彼らが見るようになるためです。25 正しい父よ。この世はあなたを知りません。しかし、わたしはあなたを知っています。また、この人々は、あなたがわたしを遣わされたことを知りました。26 そして、わたしは彼らにあなたの御名を知らせました。また、これからも知らせます。それは、あなたがわたしを愛してくださったその愛が彼らの中にあり、またわたしが彼らの中にいるためです。(ヨハネ17:24-26)

- B. 御父は、イエスの洗礼のとき(マタイ3:17)、荒野での誘惑の直前、そしてイエスが十字架にかかる前に変貌山で(マタイ17:5)、イエスに愛を語られました。私たちは、誘惑に直面したり、犠牲的な従順のために自分を否定したりするとき、自分の「愛」について洞察する必要があるのです。

17 また、天からこう告げる声が聞こえた。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」(マタイ3:17)

- C. 父と子は互いに永遠の約束を交わしています。御父はすべてのことにおいてイエスを優位に立たせることを約束されました。すべての被造物がイエスに従い、敬い、すべての聖徒がイエスを愛するように働かれます(1コリント15:24-26、詩篇110:1-3、エペソ1:20-22、ピリピ2:9-11、コロサイ1:18)。

18 また、御子はそのからだである教会のかしらです。御子は初めであり、死者の中から最初に生まれた方です。こうして、ご自身がすべてのことにおいて、第一のものとなられたのです。(コロサイ1:18)

- D. イエスに対する御父の愛は、イエスの弟子に対する愛の尺度であり、保証なのです。私たちは、神がイエスを激しく、心から、無限に愛しておられることを感謝し、もっと見せてくださいと頼みます。彼らの関係の詳細は、イエスの美しさ、至高性、そして価値についての洞察を私たちに与えてくれます。

III. イエスの御父への愛

- A. イエスが御父を愛し、尊び、従順であったことを表す文を探し出してみましょう。(ヨハネ5:19; 6:38; 8:28; 14:31; 15:10; 17:10)。イエスがどのように御霊を愛し、敬っておられるかを調べてみましょう。

10 もし、あなたがたがわたしの戒めを守るなら、あなたがたはわたしの愛にとどまるのです。それは、わたしがわたしの父の戒めを守って、わたしの父の愛の中にとどまっているのと同じです。(ヨハネ15:10)

- B. イエスは弟子たちに、ご自分の死を御父への愛の表現として見るように励まされました(14:31)。イエスの死に至るまでの従順は、歴史上最も高価な御父への愛の表現でした。イエスの「わたしは父を愛す」という宣言は、イエスの物語に永遠に刻印されることでしょう。

30 わたしは、もう、あなたがたに多くは話すまい。この世を支配する者が来るからです。彼はわたしに対して何もすることはできません。31 しかしそのことは、わたしが父を愛しており、父の命じられたとおりに行っていることを世が知るためです。立ちなさい。さあ、ここから行くのです。(ヨハネ14:30-31)

- C. 「終わりの時」の後、つまり千年王国が終わり、世界のすべての王国と社会のすべての領域がイエスを主として公けに従った後、「まさにその時」、イエスは御父への愛の表現として、それらすべてと御自分を御父に委ねるのです(1コリント15:24-28)。

24 それから終わりが来ます。そのとき、キリストはあらゆる支配と、あらゆる権威、権力を滅ぼし、国を父なる神にお渡しになります。28しかし、万物が御子に従うとき、御子自身も、ご自分に万物に従わせた方に従われます。これは、神が、すべてにおいてすべてとなられるためです。(1コリント15:24-28)

IV. イエスの弟子たちへの愛(ヨハネ15:9)

- A. イエスは、御父が御自分を愛してくださるのと同じ強さで、贖われた者を愛してくださいと宣言されました(ヨハネ15:9)。父と子が私たちをどのように愛しているかということは、すべての信者の価値を示す究極の表現です。この真理は、すべての信者が自分を「神のお気に入り」とみなす権利を与えてくれるのです。ヨハネは自らを「主に愛された弟子」と呼びました(ヨハネ13:23、19:26、20:2、21:7、20)。

9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。(ヨハネ15:9)

- B. 聖書は、私たちと共にいたいというイエスの願いを強調しています(ルカ23:43、ヨハネ12:26、14:3、17:24、1テサ4:17、ヘブル10:22)。イエスは御父の栄光で地上を満たすパートナーとして、私たちが御父の近くにいることを望んでおられるのです。黙示録3:21は、来るべき時代における私たちの働きに関する最も劇的な記述の一つです。

4 父よ。お願いします。あなたがわたしに下さったものをわたしのいる所にわたしといっしょにおらせてください。あなたがわたしを世の始まる前から愛しておられたためにわたしに下さったわたしの栄光を、彼らが見るようになるためです。(ヨハネ17:24)

21 勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせよう。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。(黙示録3:21)

- C. 主はご自分の家族に「すべてのもの」を与え、私たちのために栄光のものを用意してくださいました(1コリント2:9；3:22)。私たちは、美しい光、天候、農業、輝かしい装飾が施された建築物、芸術、香りのある調度品、音楽、食べ物などを含む楽園で、永遠にイエス様と一緒にいることができます。

22 パウロであれ、アポロであれ、ケパであれ、また世界であれ、いのちであれ、死であれ、また現在のものであれ、未来のものであれ、すべてあなたがたのものです。(1コリント3:22)

9 まさしく、聖書に書いてあるとおりです。「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。」(1コリント2:9)

18 今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます。(ローマ8:18)

- D. もし、主権者である王が、民に対する愛と善意と優しさに満ちているのではなく、この世の君、サタンのように怒りと苦悩に満ちていたとしたらどうでしょう。

28 神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを私たちは知っています。(ローマ8:28)

13 あなたがたの着物ではなく、あなたがたの心を引き裂け。あなたがたの神、主に立ち返れ。主は情け深く、あわれみ深く、怒るのにおそく、恵み豊かで、わがわいを思い直してくださるからだ。(ヨエル2:13)

6 キリスト・イエスにあって、ともによみがえらせ、ともに天の所にすわらせてくださいました。7 それは、あとに来る世々において、このすぐれて豊かな御恵みを、キリスト・イエスにおいて私たちに賜る慈愛によって明らかに示しになるためでした。(エペソ2:6-7)

V. 愛のうちにとどまる: 最も重要な戒め(ヨハネ15:9)

- A. 私たちは、ヨハネ15:9a、bにあるこの二つの真理を中心に主と多くの会話をしながら、主の愛の中に生きることにとどまる、または集中することです。これは、リバイバルの前も、最中も、その後も、私たちの生活の主要な関心事となるべきことです。この命令は、私たちが「父がどのように御子を愛しておられるか」を生涯学ぶ者となることを求めています。

9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。(ヨハネ 15:9)

- B. とどまることは言葉から始まります。神に向かって語られるシンプルなフレーズ「もっと見せてください！」は、私たちの感情を変化させます。時が経つにつれて、神が考え、感じ、言い、行うことが、私たちの心を徐々に満たしていくのです。私は、知識(聖書の真理)、会話(神との)、光(新しい洞察)、インスピレーション(従うための新たな動機)、そして満足と喜びをもたらす変化(新しい感情と思考)の5つのプロセスを考えています。